

函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理

【平成26年度計画および中間評価における局内評価結果および経営懇話会意見等】

総 評

函館市企業局では、平成22年3月に策定いたしました「函館市交通事業経営計画（第2次）」に基づいて軌道（交通）事業の運営をしており、毎年、本計画に記載されている各対策項目の自己評価とそれに対する函館市企業局経営懇話会からの意見等を頂きながら進行管理を行うことで、計画の適切な実施に努めているところでございます。

今年度につきましては、平成26年度の局内評価とあわせて経営計画の前期5か年の総括として中間評価を実施し、これに対して経営懇話会からご意見等を頂戴しました。委員の皆様には企業局のこれまでの取り組みに対して一定のご理解を頂きましたが、その一方で、今後の取り組みなどについて多くの貴重なご意見等を頂戴したところでございます。

軌道（交通）事業については、事業の健全運営を図るために、第1次の経営計画において、市営バスの民営化や人件費の大幅な削減などを行いました。そして、第2次の経営計画では、第1次経営計画で解消出来なかったバス事業の不良債務解消に向けて、様々な対策に取り組んでまいりました。さらには、計画外でも水道局との組織統合などの効率化対策を進めるとともに市からの協力も頂き、昨年度、長年の課題でありましたバス事業にかかる不良債務の解消を図ったところでございます。

しかしながら、この度の中間評価を終え、軌道（交通）事業における新たな課題なども発生しておりますことから、今回頂戴したご意見等を真摯に受け止めてまいるとともに、引き続き地域の足としてはもとより、新幹線時代に向けて来函する皆様にも沢山利用いただき、「人と環境に優しい路面電車」をこれからも維持し続けていくために、職員一丸となって、健全運営に努めてまいりたいと考えております。

平成27年12月

函館市公営企業管理者

企業局長 川越 英雄